

令和6年度 県土整備部幹部職員を紹介

■ 県土整備部長 上澤 和哉 (かみさわ かずや)



県土整備部の業務は、近年、激甚化・頻発化する自然災害から県民の生命や財産を守り、また、産業や観光振興の基盤となる社会資本の整備や維持管理であり、県民や地域の想いや願いを社会資本の整備を通じて、具現化する大切な仕事です。

「明るく、楽しく、情熱を持って！」業務に取り組んでいきたいと思えます。

基本は、心身の健康です。私自身は、週末に気持ちの良い汗を流せるよう適度な運動を心掛けます。

本年度も、岩建野球大会、県土整備部サッカー大会など、皆さんの元気なプレーと笑顔が楽しみです。宜しくお願いします。

■ 技監兼河川港湾担当技監 岩崎 等 (いわさき ひとし)



4月1日付けで、技監兼河川港湾担当技監を拝命しました。県土整備部の一員として、岩手県の安心・安全、さらなる発展のために頑張ります。

岩手県での勤務は初めてですが、東北地方整備局での勤務経験があり、公私ともに何度も訪れたことがある親しみのある地域です。さらに“岩手通”になるため、知る人ぞ知るお勧めスポット情報を絶賛募集中です。

よろしく願いいたします。

■ 副部長兼県土整備企画室長 加藤 真司 (かとう しんじ)



県土整備部は、はじめての勤務ですが、20数年前の児童家庭課でのこどもの森建設や、10数年前の総務室での増田前知事主導の入札改革など、思い返すと、県土の諸先輩方と一緒に働く中で、前向きな気持ちを忘れずに、仕事の楽しさを覚え、成長の喜びを知ることができました。

令和6年度のキャッチコピー「明るく、楽しく、情熱を持って」は、当部に根づく組織風土を改めて表したものだと思えます。その一助となるよう頑張ります。

■ 道路担当技監 菅原 常彦 (すがわら つねひこ)



今年度、道路担当技監を拝命しました。

私のモットーは、とにかく風通しの良い職場環境の構築。

個々の能力が高くて、風通しが良くなければスムーズな業務遂行はかたまりません。”風通しが良い職場環境に質の高い業務がついてくる”ともいえるでしょう。

今年度も部長室には良好な風が吹いています。遠慮なく部長室に足をお運びください！！

■ まちづくり担当技監 小野寺 哲志 (おのでら さとし)



今年度、まちづくり担当技監を拝命しました。岩手県の安心・安全を確保して、暮らし・働く方々が幸せを感じてもらえるよう頑張ります。

私たちを取り巻く社会環境の変化に柔軟に対応しながら、常に前向きに「明るく、楽しく、情熱をもって！」業務に取り組みたいと思す。

明るく楽しい仕事は、健康とワークライフバランスの実現から始まると思いますので、まずは健康第一を心がけます。よろしく願いいたします。